木津川市教育委員会の所管する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

（令和元年度実施事業）

令和３年２月

木津川市教育委員会

目　次

Ⅰ．はじめに　1

Ⅱ．教育委員会の活動状況　4

Ⅲ．教育委員会の施策と取組内容
重点目標１　質の高い学力をはぐくむ　１０
重点目標２　豊かな心と規範意識をはぐくむ　１３
重点目標３　健やかな体をはぐくむ　１８
重点目標４　一人一人の個性や能力を伸ばし、社会の形成者としての必要な資質をはぐくむ　２２
重点目標５　社会の変化に対応し、未来を確かに生きる力をはぐくむ　２７
重点目標６　魅力ある・信頼される学校・園をつくる　３１
重点目標７　地域の力を活かして子どもをはぐくむ　３４
重点目標８　地域を学び、郷土を大切にする心をはぐくむ　４２

Ⅳ．資料　４５

Ⅴ．有識者総評　５１

Ⅰ．はじめに

１．趣旨

木津川市では、まちづくりの基本的な施策の方針をまとめた第１次木津川市総合計画後期基本計画を平成２６年３月に策定し、平成３０年度までの施策として、７つの基本方針を示し「水・緑・歴史が薫る文化創造都市」の実現に向けて取り組んでまいりました。現在は、平成３１年３月に第２次木津川市総合計画を策定し「子どもの笑顔が未来に続く　幸せ実感都市　木津川」をまちの将来像と定め、実現に向けて取り組んでおります。

令和元年度の教育委員会が所管する事務事業については、第２次木津川市総合計画に基づき、基本方針の第１番目に「ともに『学び』『喜び』『成長し』未来を生きる子どもを育むまちづくり」として、「子育てするなら木津川市」といわれるまちを目指し、誰もが安心して子どもを生み育てられるよう、地域の力を結集して子育て支援を進めるとともに、次代を担う子どもたちが個性や能力を伸ばしながら、たくましく生きることができる教育・保育環境を整備し、未来を生きる子どもを育むまちづくりを施策の主要目標としています。

第２番目「誰もが生き生きと、生涯元気で暮らせるまちづくり」の中で、市民一人ひとりが心豊かに暮らせるよう、年齢に関係なく学び、スポーツを楽しむことができるまちづくりを進めることを主要目標の一つとして、そして、第４番目には「人・資源・立地を活かし、未来を拓く産業のまちづくり」として、豊かな自然や長年培われてきた歴史文化など豊富な地域資源を大切に守りながら活用し、観光やまちづくりに活かすことで、市の魅力を高め、活力と賑わいを生み出し、未来を拓くまちづくりを主要目標の中に掲げています。

学校教育においては、「木津川市教育振興基本計画」を平成２６年３月に策定し、「生きる力をはぐくみ、新しい時代を拓く“きづがわっ子”を目指して」を基本理念とし、「子どもの力を伸ばし、未来に向かって生きる力をはぐくむ」、「一人一人が輝き、社会の一員としての基盤をはぐくむ」、「木津川市の力を結集し、みんなで守りはぐくむ」ことを目標として取り組んでまいりました。現在は、平成３１年３月に中間見直しを行い「木津川市教育振興基本計画（後期）」を策定し、新たな教育課題にも対応し、更なる教育の充実に努めています。

社会教育においては、「木津川市生涯学習推進計画」を平成２６年３月に策定し、基本的人権の尊重を基盤として心豊かでうるおいのある社会の実現のため、社会の様々な教育機能を有機的に関連付け、人生の各時期に応じた多様な学習機会の提供や自発的な学習活動の支援など市民が生涯にわたって学び続けることのできる学習環境の総合的な整備・充実を促進し、地域の特性を生かした生

涯学習の振興に努めています。さらに、同和問題など様々な人権問題についての学習活動の推進を図り、住民が相互にかかわる中であらゆる差別を許さない社会の実現を目指しています。そのために学校や他の行政機関・関係団体及び地域住民との連携を密にし、相互の連携を強めながらＮＰＯなど民間における取組も視野に入れた教育活動の企画・推進を図っています。

文化財の保護においては、「木津川市文化財保存活用基本計画」を平成２８年３月に策定し、「歴史的文化的遺産の保全と活用」、「市民との連携による歴史学習の推進と文化財の公開」、「水・緑・歴史のネットワークづくり」に取り組んでいます。また、平成３０年度からは、木津川市歴史文化基本構想を４年計画で策定するために市内の有形・無形文化財の現状調査を実施していますが、文化財保護法改正に伴い、令和２年度からは文化財保存活用地域計画の作成に移行して事業を進めています。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行いその結果に関する報告書を作成して議会に提出するとともに公表することと定められています。

今回の報告書からは、教育委員会の所管する事業内容の評価に主眼を置くように様式を改訂し、市の総合計画に掲げられたまちづくりの基本方針及び目指すべき教育の実現に向けて、現時点での成果と課題を整理し、今後の教育目標を明確にするべく、教育委員会が所管する施策、取組内容を自己点検及び評価しました。

２．点検評価の対象及び方法

点検評価は、「木津川市教育振興基本計画（後期）」に沿って、令和元年度の教育委員会の施策や取組内容について、実施状況や事業費を前年度と比較し、重点目標ごとに自己点検及び評価を行いました。

その結果を「成果と課題」に整理し、今後の見通しを明確にするため「今後の方向性」としてまとめました。

なお、本報告書の作成にあたっては、有識者として中下和男氏から助言をいただきました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律　〈抜粋〉

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第２６条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第１項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第４項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

資料

「木津川市教育振興基本計画（後期）」

「木津川市生涯学習推進計画」

「木津川市文化財保存活用基本計画」

平成３１年度学校教育の重点

平成３１年度社会教育の重点

令和元年度全国学力・学習状況調査結果

Ⅱ．教育委員会の活動状況 （平成31年4月1日～令和2年3月31日）

1．教育委員について

市教育委員会は、市長が市議会の同意を得て任命した教育長、4人の委員で構成されています。

令和元年度 木津川市教育委員会教育長及び委員

役　職　名	氏　　名	備　　考
教　育　長	森永　重治	
教育長職務代理者	有賀　やよい	
委　員	小松　信夫	
委　員	高橋　史代	
委　員	佐脇　貞憲	

2．教育委員会の開催状況

令和元年度教育委員会会議開催状況一覧

No.	件　名	開　催　日
1	第 4回定例会	平成31年 4月22日
2	第 5回定例会	令和元年 6月 5日
3	第 6回定例会	令和元年 7月 3日
4	第 7回定例会	令和元年 7月29日
5	第 8回定例会	令和元年 8月27日
6	第 9回定例会	令和元年 9月30日
7	第 3回臨時会	令和元年10月16日
8	第10回定例会	令和元年10月21日
9	第11回定例会	令和元年11月27日
10	第12回定例会	令和元年12月23日
11	第 1回定例会	令和 2年 1月22日
12	第 2回定例会	令和 2年 2月19日
13	第 1回臨時会	令和 2年 2月28日
14	第 3回定例会	令和 2年 3月26日

【第4回定例会　平成31年4月22日】

○議　事

　な し

○その他

　(1)平成31年第1回木津川市議会定例会一般質問及び答弁について(3月議会)

　(2)平成30年度スポーツ推進委員の活動状況について

【第5回定例会　令和元年6月5日】

○議　事

　議案第16号　木津川市立学校評議員の委嘱について

　議案第17号　木津川市立幼稚園評議員の委嘱について

　議案第18号　木津川市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

　議案第19号　木津川市文化財保護審議会審議員の委嘱について

　議案第20号　木津川市歴史文化基本構想策定委員会委員の委嘱について

　議案第21号　木津川市立の小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部改正について

　議案第22号　木津川市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について

　議案第23号　木津川市第3子以降就園支援補助金交付要綱の一部改正について

　議案第24号　木津川市立中学校部活動指導員の任用等に関する規則の制定に係る臨時代理について

　議案第25号　木津川市食物アレルギー対応検討委員会設置要綱の制定について

　議案第26号　令和元年度木津川市一般会計補正予算第1号について

　議案第27号　木津川市立小中学校及び幼稚園空調設備整備PFI事業に係る契約の変更契約の締結について

○その他

　(1)木津川市立木津小学校の外壁落下について

　(2)図書館の本の投棄について

【第6回定例会　令和元年7月3日】

○議　事

　報告第 4号　木津川市立中学校部活動指導員の任用等に関する規則の制定について

【第7回定例会　令和元年7月29日】

○議　事

　議案第28号　木津川市立幼稚園条例の一部改正について

議案第29号　木津川市立幼稚園預かり保育事業実施要綱の一部改正について
報告第 5号　木津川市育英資金の交付状況について
○その他
(1)令和元年第2回木津川市議会定例会会派代表質問、一般質問答弁について
(2)学校給食センター運営委員会報告について
(3)東京 2020 オリンピック聖火ランナーの募集について

【第8回定例会　令和元年8月27日】
○議　事
議案第30号　木津川市高麗寺跡史跡整備委員会委員の委嘱について
議案第31号　令和元年度木津川市一般会計補正予算第2号について
議案第32号　令和2年度使用中学校教科用図書の採択について
議案第33号　令和2年度以降使用小学校教科用図書の採択について
○その他
(1)木津川市組織改正について
(2)高槻市と木津川市の包括連携協定について
(3)令和元年度幼稚園・小学校運動会、中学校体育大会教育委員等出席者名簿(案)について

【第9回定例会　令和元年9月30日】
○議　事
議案第34号　木津川市立小・中学校において使用する教材の取扱いに関する規則の一部改正について
議案第35号　木津川市就学援助費支給要綱の一部改正について
議案第36号　木津川市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部改正について
議案第37号　木津川市立幼稚園条例施行規則及び木津川市立幼稚園第3子以降利用者負担額の無償化に関する規則の廃止について
議案第38号　木津川市特定教育・保育施設に係る教育標準時間認定における利用者負担額に関する規則及び木津川市特定教育・保育施設における第3子以降利用者負担額の免除に関する規則の廃止について
議案第39号　木津川市立幼稚園預かり保育事業実施要綱の一部改正について
議案第40号　木津川市立幼稚園における副食費の免除に関する取扱要綱の制定について
議案第41号　木津川市教育委員会が所管する私立幼稚園に係る事項に関する規則の制定について
議案第42号　木津川市図書館条例施行規則の一部改正について
○その他

(1)令和元年第3回木津川市議会定例会の一般質問及び答弁について
(2)全国学力・学習状況調査及び京都府学力診断テストの結果について
(3)令和元年度第1回いじめ調査結果について
(4)令和2年度からの学校給食センターの運営について
(5)木津川市加茂体育館について
(6)城山台小学校児童の急増対策について

【第3回臨時会　令和元年10月16日】
○議　事
議案第43号　木津川市教育委員会が所管する私立幼稚園に係る事項に関する規則の制定について

【第10回定例会　令和元年10月21日】
○議　事
議案第44号　木津川市長の権限に属する事務の補助執行について
議案第45号　木津川市教育委員会規則の一部改正について
議案第46号　木津川市教育委員会事務決裁規程の一部改正について
議案第47号　木津川市立学校給食センター条例の一部改正について
○その他
(1)木津川市加茂体育館について
(2)図書館運営の見直しについて
(3)学校施設について

【第11回定例会　令和元年11月27日】
○議　事
議案第48号　木津川市体育施設条例の一部改正について
議案第49号　令和元年度木津川市一般会計補正予算第3号について
議案第50号　木津川市立小中学校及び幼稚園空調設備整備PFI事業に係る契約の変更契約の締結について
議案第51号　(仮称)新学校給食センター厨房機器等の購入契約の変更契約の締結について
議案第52号　(仮称)新学校給食センター調理器具等の買入れについて

【第12回定例会　令和元年12月23日】
○議　事
議案第53号　木津川市教育委員会事務決裁規程の一部改正について
議案第54号　木津川市図書館条例施行規則の一部改正について

○その他

(1)令和元年第４回木津川市議会定例会一般質問及び答弁について

【第1回定例会　令和2年1月22日】

○議　事

議案第 1号　木津川市体育施設条例施行規則の一部改正について

○その他

(1)令和元年度第2回いじめ調査について

(2)令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

(3)令和元年度幼稚園:卒園式、小中学校:卒業式　教育委員等出席者(案)

【第2回定例会　令和２年２月19日】

○議　事

議案第 2号　令和2年度木津川市一般会計予算について

議案第 3号　令和元年度木津川市一般会計補正予算第5号について

議案第 4号　会計年度任用職員制度移行に伴う関係規則の整理に関する規則について

議案第 5号　会計年度任用職員制度移行に伴う関係訓令の整理に関する訓令について

議案第6号　木津川市社会教育関係団体事業補助金交付要綱の一部改正について

議案第7号　木津川市教育委員会の所管する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書について

○その他

(1)学校等における食物アレルギー対応マニュアルについて

(2)令和２年度学校教育の重点について

(3)令和２年度社会教育の重点について

(4)令和元年度幼稚園:卒園式、小中学校:卒業式　教育委員等出席者について

(5)令和２年度幼稚園:入園式、小中学校:入学式　教育委員等出席者(案)について

【第1回臨時会　令和2年2月28日】

○議　事

議案第8号　令和2年度木津川市立小・中学校管理職人事について

【第3回定例会　令和2年3月26日】

○議　事

議案第 9号　木津川市立図書館協議会委員の任命について

議案第10号　木津川市スポーツ推進委員の追加委嘱について

議案第11号　木津川市教育委員会規則の一部改正について

議案第12号　木津川市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部改正について
議案第13号　木津川市立の小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部改正に係る臨時代理について
議案第14号　木津川市立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則の制定について
議案第15号　木津川市立中学校部活動指導員の任用等に関する規則を廃止する規則に係る臨時代理について
議案第16号　木津川市立学校給食センター運営委員会規則の一部改正について
議案第17号　木津川市立幼稚園預かり保育事業実施要綱の一部改正について
議案第18号　木津川市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱及び木津川市第3子以降就園支援補助金交付要綱の廃止について

〇その他
(1)令和2年度幼稚園:入園式、小中学校:入学式　教育委員等出席者について
(2)新型コロナウィルス感染防止対策についての報告
(3)幼稚園・保育園卒園式及び小中学校卒業式等に関する請願書等について
(4)城山台小学校に関する要望書等について

3. 教育委員会の活動状況

平成31年度　研修等参加状況

開催日	件　名	開催場所
令和元年 5月16日	山城地方教育委員会連絡協議会理事会、定期総会及び教育長部会・委員長部会合同研修会	木津川市中央図書館
5月31日	京都府市町村教育委員会連合会 定期総会・研修会	京都府 総合教育センター
7月　5日	相楽地方教育委員会連絡協議会 教育長・教育長職務代理者合同会議	木津川市中央図書館
10月11日	近畿市町村教育委員会研修大会	野洲文化ホール
10月24日 25日	近畿都市教育長協議会研究協議会	HOTEL＆RESORTS NAGAHAMA
11月　1日	京都府内市町(組合)教育委員会研修会	ルビノ京都堀川
令和2年 2月5日	山城地方教育委員会連絡協議会研修会	黄檗宗大本山萬福寺

Ⅲ. 教育委員会の施策と取組内容

重点目標１　質の高い学力をはぐくむ

■施策の基本的方向と取組内容

(1) 学びに向かう力、人間性等の涵養と学習習慣の確立
　① 木津川市ならではの「わかる授業の創造」
　② 幼・小・中連携の推進

(2) 基礎的・基本的な知識・技能の習得
　③ すべての子どもの学力の向上

(3) 活用する力の育成
　④ 思考力・判断力・表現力等の育成

■主な取組実績

取組名	学びに向かう力、人間性等の涵養と学習習慣の確立
取組内容	○木津川市立小・中学校学力充実・向上推進会議の開催 ・『質の高い教育』の創造を目指し、教育委員会と学校とが連携して協議・交流・研修する。 ▶実施状況　(回) 平成30年度：開催回数 5　令和元年度：開催回数 4 ▶推進委員構成　(人) 小学校教職員 13 中学校教職員 5 学校教育課 4
担当課	学校教育課

取組名	基礎的・基本的な知識・技能の習得
取組内容	○ホップアップ学習（小学校補充学習） ・小学校３年生から６年生を対象として、放課後や夏休みを利用し、学習意欲の向上や学習習慣の確立及び基礎学力の充実のための補充学習を実施。 ▶実施状況 平成30年度：実施校数 13、のべ時間数 1，099、のべ参加者数 165 令和元年度：実施校数 13、のべ時間数 1，041、のべ参加者数 155 ▶事業費　(千円) ホップアップ学習事業費：平成30年度 1，648　令和元年度 1，562

○ステップアップ学習（中学校補充学習）

・中学校１年生から３年生を対象として、放課後や夏休みを利用し、学習意欲の向上や学習習慣の確立及び基礎学力の充実のための補充学習を実施。

▶実施状況

	平成30年度	令和元年度
実　施　校　数	5	5
の べ 時 間 数	４１９	４３６
のべ参加者数	６２	６９

▶事業費　（千円）

	平成30年度	令和元年度
ステップアップ学習事業費	６２８	６５４

○木津川市小学校統一学力診断テスト

・客観的な学力の把握と、分析に基づく教科指導並びに授業改善を図るため、小学２年生から５年生を対象とし、国語科及び算数科、５年生は理科を加えた学力診断テストを実施。

▶実施状況　（人）

	平成30年度	令和元年度
受　験　者　数	３，６１７	３，６０４

担 当 課	学校教育課

取 組 名	活用する力の育成
取組内容	○学びの深化プロジェクト ・城山台小学校では平成２７年度から①思考ツールを活用した協働的な学びによる児童の論理的思考力の向上②教職員の授業スキルの向上と研究体制を軸とした学校組織の活性化に取り組んできた。令和元年度からは、京都府教育委員会の研究指定「学びの深化プロジェクト事業」を受け、学力の向上に向けた深化・発展を目指し研究を推進した。教職員の主体性を尊重した研究グループを編成することで教職員間の学び合う風土の醸成にもつながっている。
担 当 課	学校教育課

▶事業費　（千円）

	平成30年度	令和元年度
学びの深化プロジェクト実　施　校　事　業　費	－	１５９

取　組　の　成　果　と　課　題
【成果】 ◎全国、府の学力調査において、小・中学校ともに、実施された国語・算数(数学)・英語の教科で全国・府平均を上回っている。また、市の小・中学校学力充実・向上推進会議において、各学力調査の結果分析を共通理解し、各校での具体的な取組に生かすことができた。 ◎本市独自の小学校統一学力テスト等の実施・検証により、学力向上を図る具体の方策を検討・実践し 、加えて市独自の補充学習の取組もあり、着実な学力の向上につなぐことができた。 ◎城山台小学校が取り組んでいる「学びの深化プロジェクト」により、授業等での思考ツールの効果的な活用が実践され、授業公開等を通じて、市内各校へ成果の普及がなされた。 【課題】 ◎家庭学習において、学校の授業以外に１日２時間以上勉強すると答えた割合は、全国平均を上回っているが、30 分に満たない家庭学習時間の児童生徒がいることが判明した。 各学校で「家庭学習の手引き」等、保護者への啓発も含め、宿題の工夫など、家庭学習の習慣化への取組を継続する必要がある。

今　後　の　方　向　性
◎子どもの実態を的確に把握し、個別のニーズに応じた適切な指導・支援を行なうとともに、互いに支え、協力し合う学びの集団を基盤とした「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組み、基礎的・基本的な知識及び技能の定着と思考力・判断力・表現力等の育成を目指す。

重点目標２　豊かな心と規範意識をはぐくむ

■施策の基本的方向と取組内容

(4) 道徳教育の推進
　① 道徳教育の推進体制の充実
　② よりよく生きるための基盤となる道徳性の育成
　③ 地域の力を活かした学習活動や体験活動の充実

(5) 生徒指導の充実
　④ 社会の一員として持つべき規範意識やコミュニケーション能力の育成
　⑤ いじめ等の問題行動に対する迅速な対応及び未然防止に向けた取組の教化
　⑥ 不登校をはじめとする諸問題に対する相談体制の充実
　⑦ 地域社会との連携

(6) 読書活動の推進
　⑧ 就学前から読書に親しむ活動の推進
　⑨ 学校での読書活動の推進

■主な取組実績

<table>
<tr><td>取 組 名</td><td>道徳教育の推進</td></tr>
<tr><td>取組内容</td><td>
○木津川市道徳教育研究会
・心の教育のかなめとしての道徳教育について実践交流、研修等により、発達の段階を踏まえた多様で効果的な指導方法の工夫改善を研究し、よりよく生きる基盤となる道徳性を養う。

▶実施状況　(回)
<table>
<tr><td></td><td>平成 30 年度</td><td>令和元年度</td></tr>
<tr><td>研修会開催回数</td><td>5</td><td>5</td></tr>
</table>
▶事業費　(千円)
<table>
<tr><td></td><td>平成 30 年度</td><td>令和元年度</td></tr>
<tr><td>事業に要した経費</td><td>６０</td><td>６５</td></tr>
</table>

○各中学校区あいさつ運動の実施
・各中学校区において、地域住民と児童生徒が、あいさつ運動を通じて、心のふれあいと人と人との深い信頼関係を構築するためのコミュニケーション能力の育成を目指す。

○日々の取組
・日々の学校での活動の中で、日常的で些細なことでも繰り返し指導している。
・朝の会や終わりの会で「気づき」を促す。
・クラブ活動でのマナー向上に向けた指導
・教科書改訂に伴う指導計画や授業内容の見直し
</td></tr>
<tr><td>担 当 課</td><td>学校教育課</td></tr>
</table>

取 組 名	生徒指導の充実

取組内容

○カウンセリングルームの設置

・中央図書館で週 2 回、心身ともに健全な児童生徒の育成のために、臨床心理士が相談活動を実施。

▶開設状況 (日)

	平成 30 年度	令和元年度
開所日数（のべ）	９９	９７

▶事業費 (千円)

	平成 30 年度	令和元年度
カウンセリングルーム設置事業費	４，１８６	３，７５５

○心の教育相談員の配置

・心身ともに健全な生徒の育成のために、生徒等の様々な相談に応じる心の教育相談員を木津第二、木津南、山城中学校に各 1 人を配置（木津、泉川中学校には府のまなび生活アドバイザーを配置）。

▶実施状況 (日)

	平成 30 年度	令和元年度
配置日数（のべ）	３８０	３７７

▶事業費 (千円)

	平成 30 年度	令和元年度
心の教育相談員設置事業費	１，４０１	１，２７５

○スクールカウンセラーの配置

・悩みを持つ児童生徒の不安を和らげ、充実した学校生活が送れるよう、府費によるスクールカウンセラーの巡回派遣のみとなっている小学校（木津小学校、相楽小学校、城山台小学校、加茂小学校、南加茂台小学校、恭仁小学校、上狛小学校、棚倉小学校）に市費で臨床心理士を配置（各校４週に１回）。

▶実施状況 (時間)

	平成 30 年度	令和元年度
のべ配置時間数	７００	７０１

▶事業費 (千円)

	平成 30 年度	令和元年度
スクールカウンセラー設置事業費	３，４９５	３，５０５

○適応指導教室の開設

・心理的な要因により登校の困難な児童生徒を対象とした不登校対策。

・適応指導教室を教育支援センターと位置付け、不登校を中心とした児童生徒への支援を推進した。また、京都府教育委員会委託事業「学校以外の場における教育機会の確保等に関する調査研究」を受け、別室指導援助等を行った。

▶実施状況　（人）

	平成30年度	令和元年度
登　録　人　数	２８	２５

▶事業費　（千円）

	平成30年度	令和元年度
適応指導教室事業費	１０，５２２	１１，２６１

○魅力ある学校づくり調査研究事業

・不登校を未然に防ぐため、児童生徒にとって魅力的な学校づくりのための取組を行った。

・泉川中学校区の小中学校をモデル校として指定し、年３回のアンケート調査をもとにＰＤＣＡサイクルに則り、取組の見直しと効果的な活用を図った。

▶事業費　（千円）

	平成30年度	令和元年度
魅力ある学校づくり調査研究事業費	－	４１５

○いじめ防止等対策

・木津川市いじめ防止等対策委員会事業、各校のいじめ防止対策委員会による組織的な指導体制を確立し、全ての児童生徒に対してアンケートと教育相談を実施し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努める。

▶実施状況　（回）

	平成30年度	令和元年度
委員会開催回数	2	2

▶事業費　（千円）

	平成30年度	令和元年度
いじめ防止等対策委員会事業費	３２０	３７５

担当課	学校教育課

取組名	読書活動の推進
取組内容	○としょかんスタートセットの配布 ・小学校１年生に「としょかんスタートセット」を配付し、児童の図書館利用を促進。

▶実施状況　（人）

	平成30年度	令和元年度
配　布　数	８５４	８９６

○朝読書・昼読書の実施
・すべての学校で、常に児童生徒の身近に本を置き、朝読書や昼読書の取組を組織的、継続的に実施。

○学校司書の配置
・学校司書を中心とした学校図書での読書活動を推進。

▶実施状況　（人）

	平成30年度	令和元年度
図書館司書配置数	9	9

＊１人が２校を担当

▶事業費　（千円）

	平成30年度	令和元年度
学校教育事務事業費（学校司書人件費）	１４，３９８	１４，８２８

○木津川市子どもの読書活動推進計画（第二次推進計画）の推進
・家庭、地域、専門家との連携のもと、就学前から子どもが読書活動に親しむ態度を培う。
・小中学校においては、読書活動を教育活動の中に適切に位置付け、児童生徒の読書意欲の向上、読書力の育成を図ることにより「ことばの力」の育成に努める。

○学校図書館情報化・活性化推進
・図書館システムを利用することで貸出し・返却事務を利便化し児童生徒の図書館利用を促進する。

▶実施状況　（年度末現在：冊）

	平成３０年度	令和元年度
学校図書蔵書数	１３５，３９９	１４４，４５７

▶事業費　（千円）

	平成３０年度	令和元年度
学校図書館情報化・活性化推進事業費	５，８３５	４，９９０

担当課	学校教育課、社会教育課

取　組　の　成　果　と　課　題

【成果】
◎特別の教科道徳の全面実施に向けて、発達段階に応じた道徳科を中心とした効果的な指導と評価についての実践的な交流、研究を通して、よりよく生きる基盤となる道徳性の育成につなげた。
◎スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーなど相談員の配置及び充実と、より積極的な活用及び適応指導教室による児童生徒への支援を推進することで、不登校をはじめとする学校不適応などに対する相談体制を充実した。
◎「魅力ある学校づくり調査研究事業」を実施したことで、新規の不登校生徒数が抑制され「未然防止」の施策として有効であった。
◎学校司書の配置により、各学校での読書活動への取組が具体的に活性化され、児童生徒が学校図書館で過ごす時間が充実してきている。

【課題】
◎いじめ問題への対応の充実と発達の段階をより一層踏まえた体系的なものに改善する必要がある。
◎不登校児童生徒に対する様々な取組を進めているが、不登校児童生徒数の減少には至っていない。今後もより一層の取組強化が必要である。
◎学校の授業以外で読書をする割合が、全国平均を下回っている。
読書が、「ことばの力」をはぐくむ直接的な取組であり、学力の基盤になる部分であることを鑑みて、朝読書等の読書活動を継続するとともに、本に親しむ取組をより活発に進める必要がある。

今　後　の　方　向　性

◎個々の子どもの発達段階を踏まえた個別指導や援助、共生社会の一員として認められながら、規範意識の醸成や個性の伸長 、コミュニケーション能力の育成を図っていくために、組織的・計画的な生徒指導を推進する。
特に不登校対策については教育機会の保障の観点から長期的な支援も視野に入れた対策を進める。
読書活動は、子どもの言語力と創造力等を高め、深い情緒をはぐくむ上でも社会全体でその推進を図っていくことが重要であり、京都府子ども読書活動推進計画並びに木津川市子どもの読書活動推進計画（第二次推進計画）を踏まえ、「ことばの力」を豊かにはぐくむ読書活動を推進する。

重点目標３　健やかな体をはぐくむ

■施策の基本的方向と取組内容

(7) 食育の推進
　① 健やかな体づくりの支援
　② 望ましい食文化の継承と地産地消の推進
　③ 安心・安全な学校給食の実施

(8) 体力の向上
　④ データに基づく児童生徒の体力向上
　⑤ 体育的行事や部活動の充実

(9) 健康の保持増進
　⑥ 喫煙、飲酒、薬物乱用等の防止教育
　⑦ 家庭と連携した生活習慣の確立
　⑧ 学校保健・保健管理の充実

■主な取組実績

<table>
<tr><td>取 組 名</td><td>食育の推進</td></tr>
<tr><td>取組内容</td><td>
○木津川市食育推進委員会

▶実施状況　(回)
<table>
<tr><td></td><td>平成30年度</td><td>令和元年度</td></tr>
<tr><td>開 催 回 数</td><td>5</td><td>１３</td></tr>
</table>
＊令和元年度は、新給食センターの発足に向けた協議を含む

○５分間スタディの実施
・すべての小・中学校で実施。
・学年に応じたテーマを設定し、食に関する５分間の学習を学期に１回程度実施。子どもたちの学習内容を保護者にも情報共有している。

○栄養教諭による出前授業の実施

▶実施状況　(回)
<table>
<tr><td></td><td>平成30年度</td><td>令和元年度</td></tr>
<tr><td>開 催 回 数</td><td>１６</td><td>１５</td></tr>
</table>

○アレルギー対応マニュアルの策定
・アレルギーへの対応は、時として生命にかかわる重大な事故につながる可能性があることから、安全性を最優先し、事故の未然防止のために、学校給食に携わる者全てが、食物アレルギーに対する正確な知識に基づく適切な対応が取れるよう、組織体制やアレルギー対応方針を定めたマニュアルを策定した。
</td></tr>
</table>

○給食の地産地消の推進

・地元産食材を使った郷土食や伝統料理等の食文化を継承し、栄養バランスが取れ、子どもの健全な成長を促すとともに、ふるさとの農業・食文化への興味付けを行う。

▶実施状況　(%)

	平成30年度	令和元年度
地産地消率	６１．２	１４．２

＊H30 該当食材使用日数/給食提供日数
R1　該当食材数/1日に使用する食材数

○（仮称）新学校給食センター建設事業

・改正後の学校給食衛生管理基準、ＨＡＣＣＰに沿った施設とし、安心、安全、安定供給を目指し新たな施設を建設した。旧センターではできなかった献立作成も可能になった。また、災害時の食事提供にも対応できるよう設備を整えている。

・平成２９年度プロポーザルにより設計業者を選定し、３０年度から建設開始。令和２年２月２１日竣工。令和２年３月に旧センターから移転、４月に稼働した。

▶施設概要

敷地面積	１４，７９９．８６㎡
延べ床面積	３，１２７．７６㎡
構造	鉄骨造２階建
調理能力	１日７，０００食 （副食、米飯とも）
主な設備	厨房機器（調理・洗浄）、外調機（２４ｈ稼働・空気の循環、温度調節）、ボイラー、中和処理装置、除害処理設備、貯水槽

▶事業費　(千円)

	平成３０年度	令和元年度
（仮称）新学校給食センター建設事業費	６４１，７８５	１，５３０，４７１

担当課	学校教育課

取組名	体力の向上
取組内容	○木津川市立中学校運動部活動連携事業 ・市立中学校における運動部活動の活性化と生徒の運動能力・体力の向上を図るため、在籍校に希望する運動部がなくても、市内の他校の運動部に参加できる事業を継続する。 ○木津川市小学校陸上運動交歓記録会 ・木津川市内小学校の第６学年の児童が一堂に会し、自己の運動能力を伸ばすとともに、スポーツの楽しさと喜びを味わう交歓の

場。市小学校体育連盟主催。

○中学校部活動外部指導者
・学校部活動支援のため、学校の実態に応じた外部人材を配置する。

▶実施状況

	平成30年度	令和元年度
配置校数	3校	3校
配置人数	4人	4人

○中学校部活動指導員
・学校部活動を支援するとともに、教職員の働き方改革を進める。

▶実施状況

	平成30年度	令和元年度
配置校数		1校
配置人数		1人

担当課	学校教育課

取組名	健康の保持増進
取組内容	○木津川市学校保健会連絡協議会 ・健康で望ましい生活習慣の確立を図る。 ○オリンピック・パラリンピック教育の実施 ・京都府の委託を受けた推進指定校が多様なスポーツを体験し、親しむことで児童生徒一人ひとりのスポーツ志向の高まりを期待するとともに、自他を尊重し、社会に貢献しようとする心やボランティアマインドを養い、共生社会を築くための障害者理解を身につける。
担当課	学校教育課

▶実施状況 (校)

	平成30年度	令和元年度
実施校数	4	4

▶事業費 (千円)

	平成30年度	令和元年度
オリンピック・パラリンピック教育推進事業費	450	359

取　組　の　成　果　と　課　題

【成果】
◎新学校給食衛生管理基準に適合した新学校給食センターが完成し、令和２年度からの本格稼働のための準備が整った。
◎給食をはじめとする学校生活における食の安全を守るためアレルギー対応マニュアルを作成した。
◎運動部活動指導方針に基づき、適切で充実した部活動が実施できた。
また、地域人材と顧問等が適切に連携した実技指導と助言により、運動部活動の活性化と適切な指導体制の構築を図った。
◎健康に関する現代的な課題に適切に対応するために、校種間の連携や各種関係機関と連携により、健康の保持増進に努める力の育成を図った。

【課題】
◎地元産食材を学校給食に取り入れるための体制づくりが必要。
◎児童生徒の体力テスト等の結果に基づく運動能力の状況を踏まえた取組や授業改善を引き続き推進していく。
◎学校・園、家庭、地域との連携のもと、基本的な生活習慣の確立に向けた取組をさらに推進していく。

今　後　の　方　向　性

◎地元産食材を使った郷土や伝統料理等の食文化を継承し、栄養バランスがとれ、子どもの健全な成長を促す「おいしく、安心・安全で魅力ある学校給食」を目指す。また、ふるさとの農業・食文化に関心が持てるよう学校・園における食に関する指導を充実する。
◎安心・安全な学校給食等を実施するため、作成した学校等における食物アレルギー対応マニュアルをもとに教職員の研修を推進する。
◎体力を培う学校体育の充実と中学校部活動の充実を図る。
◎小中学校教育研究会と連携し、体力テスト等の結果集計・分析に基づく運動能力の状況を踏まえた取組や授業改善を推進する。
◎喫煙や飲酒、薬物乱用等の防止教育を進め、生涯に渡って健康の保持増進に努める力の育成を図る。

重点目標４　一人一人の個性や能力を伸ばし、社会の形成者としての必要な資質をはぐくむ

■施策の基本的方向と取組内容

(10) 人権教育の推進
　① 人権感覚をはぐくむ学習環境の創造
　② 共生の態度の育成
　③ 校種間・家庭・地域・関係機関との連携

(11) 特別支援教育の推進
　④ ニーズに応じた支援の推進・相談体制の充実
　⑤ ユニバーサルデザインの視点・多様な学びの場

(12) キャリア教育の推進
　⑥ 将来を見通した系統的な教育の推進
　⑦ 進路指導相談体制の充実

(13) 幼児期の教育の推進
　⑧ 人格形成の基礎を培う幼児期の教育の充実
　⑨ 幼少連携の推進
　⑩ 家庭教育における子育て支援

(14) 経済的に困難な環境にある子どもへの支援の充実
　⑪ 子どもが置かれている環境の改善を図る取組の充実
　⑫ 児童生徒の学習支援の充実
　⑬ 保護者への経済的支援の充実

■主な取組実績

取 組 名	人権教育の推進
取組内容	○木津川市人権教育研究会 ・あらゆる教育活動を通して総合的に人権教育を推進する中で、一人一人を大切にして教育・保育の推進を図り、校種間連携のもとに様々な人権問題について正しい理解と認識をし、他を尊重する態度や実践力の育成に向けた積極的な取り組みを進める。
担 当 課	学校教育課

取 組 名	特別支援教育の推進
取組内容	○相談支援ファイルの作成と活用 ・個別の指導計画や個別の教育支援計画の作成と取組を進め、生

涯にわたる一貫した支援のために「相談支援ファイル」を活用し、適切な支援を継続させる。

○教育支援委員会による支援
・特別な教育的支援を必要とする幼児・児童の小中学校への進学について保護者との相談及び専門家からの意見聴取などを行い、適切な就学を支援する。

▶実施状況　(回)

	平成30年度	令和元年度
支援委員会開催回数	5	5

▶事業費　(千円)

	平成30年度	令和元年度
教育支援委員会事業費	５３６	５３２

○特別支援教育支援員の配置

▶実施状況　(5月1日現在)

	平成30年度	令和元年度
特別支援学級数（小学校）	２９	３５
特別支援学級数（中学校）	１２	１０
要支援児童数	１１６	１２３
要支援生徒数	４９	４１

▶事業費　(人、千円)

	平成30年度	令和元年度
特別支援教育支援員数	２５	２７
学校教育事務事業費（特別支援教育支援員人件費）	１８，１１０	２３，４７２

○相楽地方通級指導教室の開設
・言語、聴覚等に障がいのある児童にできるだけ早期に改善・克服できるよう指導を行う。

▶実施状況　(人)

	平成30年度	令和元年度
通級指導終了（児童）	３１	４６
通級指導終了（生徒）	7	１１

担当課	学校教育課

取組名	キャリア教育の推進
取組内容	○仕事・文化体験活動の実施 ・児童生徒が仕事・文化体験学習を行い、様々な経験を通して豊かな心を育てることを目的とする。

▶実施状況　(校)

	平成30年度	令和元年度
実　施　校　数	１７	１７

▶事業費　(千円)

	平成30年度	令和元年度
「KYO 発見　仕事・文化体験活動」推進事業費	９８２	９７２

担当課	学校教育課

取組名	幼児期の教育の推進
取組内容	○「もうすぐ１年生」体験入学推進事業 ・幼稚園や保育園等の幼児が小学校入学後の生活習慣に早期に対応できるように各小学校が実施する体験入学や交流会に必要な物品等を購入する。

▶実施状況　(人)

	平成30年度	令和元年度
入学予定者数	８６９	８９６
事業参加幼児数	８２５	８５０

▶事業費　(千円)

	平成30年度	令和元年度
「もうすぐ１年生」体験入学推進事業費	８７３	８９８

○市立幼稚園の運営

・教育目標を達成するため、一人ひとりの個性や能力を伸ばし生きる力を培う幼児教育の質の向上を図る。

《教育目標》

やさしさ・豊かさ・たくましさをもった子どもの育成

▶実施状況　(5月1日現在：人)

	平成30年度	令和元年度
木津幼稚園園児数	２０７	１５６
相楽幼稚園園児数	１１１	９４
高の原幼稚園園児数	１４８	１４８

▶事業費　(千円)

	平成30年度	令和元年度
木津幼稚園管理事業費	６，７３１	６，１９３
相楽幼稚園管理事業費	５，４１９	５，４９８
高の原幼稚園管理事業費	５，８２７	６，３０８

担 当 課	学校教育課、こども宝課

取 組 名	経済的に困難な環境にある子どもへの支援の充実
取組内容	○就学援助費の支給 ・経済的理由により就学困難と認められる児童・生徒の保護者および特別支援学級在籍児童・生徒の保護者に対し、児童・生徒に平等な教育の機会を与えることを目的に援助を行った。 ・熊本地震被災児童に対する就学支援を支出した。 ・令和元年度は国の支給単価の見直しに準じて支給単価の改正と支給項目の追加（卒業アルバム代）を行った。 【小学校】 ・就学援助費の対象者は６７３人（要保護児童３８人、準要保護児童６３５人）、このうち６１７人（要保護児童１０人、準要保護児童６０７人）に対して支給した。 ・就学奨励費の対象者は９５人、このうち８７人に対して支給した。 ・令和２年度新入学児童８２人に対し学用品費を入学前支給した。 【中学校】 ・就学援助費の対象者は３３５人（要保護生徒１５人、準要保護生徒３２０人）、このうち３２２人（要保護生徒２人、準要保護生徒３２０人）に対して支給した。 ・就学奨励費の対象者は２４人、このうち２１人に対して支給した。 ・令和２年度新入学生徒１０６人に対し学用品費を入学前支給した。 ▶事業費 （千円） 平成30年度 / 令和元年度 就学援助事業費（小学校） ４４，７７４ / ４７，１９９ 就学援助事業費（中学校） ４２，００２ / ３９，４１０
担 当 課	学校教育課

取　組　の　成　果　と　課　題
【成果】 ◎特別な教育的支援を必要とする幼児・児童の状況を踏まえた就学相談を、委員はもとより関係機関等と連携し、保護者の意見を踏まえて適切な就学先の決定を行うことができた。 ◎通常学級における配慮を必要とする児童・生徒のニーズに基づき、特別支援教育支援員が個別の支援を行うことにより、個々の児童・生徒の学力向上や心の安定等を図ることできた。 ◎通常の学級における配慮を要する児童に対して、通級指導教室での指導により、個々の発達課題の克服に取り組むことができた。 【課題】 ◎特別な支援を要する幼児・児童・生徒への必要な支援を行うとともに、適切な就修学に努める。 ◎特別な教育的支援を必要とする幼児・児童・生徒の一貫した支援を図るため保幼小中の連携をさらに密にし、今後も生涯にわたる切れ目のない支援を充実する。

今　後　の　方　向　性
◎個々の子どもの発達課題や実態を細やかに把握し、必要な指導・支援を行うことにより、一人一人の社会的自立を図ることができる能力を育成する。

重点目標５　社会の変化に対応し、未来を確かに生きる力をはぐくむ

■施策の基本的方向と取組内容

(15) 情報教育の推進
　①　ＩＣＴ活用能力の育成
　②　情報モラルの育成
　③　ＩＣＴ教育の研究体制等の充実

(16) グローバル化に対応できる人材の育成
　④　多文化共生教育の推進
　⑤　国際交流事業の推進

(17) 環境教育の推進
　⑥　環境を保全する力の育成

■主な取組実績

取 組 名	情報教育の推進
取組内容	○木津川市情報教育研究会 ・情報教育を推進する組織を軸とした研究・指導体制の充実を図る。 ・教職員研修を充実し、ICT スキルの向上と情報モラル教育の充実を進める。 ○ＩＣＴ教育の推進 ・児童生徒一人ひとりの学力向上を目指して、より分かりやすい授業、子どもたちの学習への興味や関心を高める授業を効果的に実施するため、ＩＣＴ機器やデジタル教材等を活用した学習活動を推進する。 ▶実施状況 ・ＩＣＴ機器やデジタル教科書等は、平成３０年度までに小中学校の全普通教室及び特別教室に整備。以降クラス数増加対応分を整備していく。 ・小学校６校、中学校２校分の学習用パソコン（パソコン教室）、校務用パソコンをリース契約により更新。うち学習用パソコンは活用の場を広げるためタブレット型に変更した。同時に事務効率向上のため、学校管理事業費から事務局費へ予算科目を変更した。 ・セキュリティの向上、校務の効率化を目指して市役所本庁舎にセンターサーバを構築した。

▶事業費　(千円)

	平成30年度	令和元年度
ＩＣＴ教育推進事業費	４０，７０７	４０，９５２
可動式教育用コンピュータ整備事業費	－	１０，６３０
パソコン教室事業費	２５，２６４	２０，３６７

○ＩＣＴ支援員の配置
・ＩＣＴ機器やデジタル教科書を使用した授業を円滑に進めるため、動画の作成や動作不良対応などの教員のサポートを行う。

▶実施状況

	平成30年度	令和元年度
配置校数	１８	１８
配置人数	7	7

担当課	学校教育課

取組名	グローバル化に対応できる人材の育成
取組内容	○国際理解教育の推進 ・外国語指導助手（ＡＬＴ）や小学校英語指導講師（ＪＴＥ）を効果的に活用し、児童生徒が生きた英語に触れることにより英語力を高めたり、国際理解を深める。 （ＡＬＴ） ▶実施状況　(時間) 平成30年度：語学指導助手授業数　１，４４１ 令和元年度：語学指導助手授業数　１，１７９ ▶事業費　(千円) 平成30年度：語学指導助手招致事業費　３８９ 令和元年度：語学指導助手招致事業費　１，６９９ （ＪＴＥ） ▶実施状況　(人) 平成30年度：配置人数　4 令和元年度：配置人数　4 ▶事業費　(千円) 平成30年度：学校教育事務事業費（ＪＴＥ人件費）　５，８６１ 令和元年度：学校教育事務事業費（ＪＴＥ人件費）　３，７７１ ○中学生海外派遣事業 ・友好都市であるサンタモニカ市との交流事業において、中学生が国際交流を行い、コミュニケーション能力や国際感覚を磨く

<table>
<tr><td></td><td>取組を推進する。

▶事業費　（千円）
<table><tr><td></td><td>平成30年度</td><td>令和元年度</td></tr><tr><td>国際交流協会補助金</td><td>４，５１５</td><td>３，８１２</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>担 当 課</td><td>学校教育課、社会教育課</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>取 組 名</td><td>環境教育の推進</td></tr>
<tr><td>取組内容</td><td>〇環境を保全する力の育成
・地域と連携した環境学習や環境保全のための自発的な活動の交流を図り、取組を充実させながら、組織的・計画的な環境教育を推進する
・市内の環境に関連する施設や地域の企業などを活用した、体験的な環境教育の取組を推進する
・地球温暖化防止の具体的な取組を通して意識を向上させ、地球的規模での環境保全に目を向けた教育を推進する
・小・中・高・大学との連携による環境学習や取組を推進する</td></tr>
<tr><td>担 当 課</td><td>学校教育課</td></tr>
</table>

取　組　の　成　果　と　課　題
【成果】 ◎全教室に ICT 機器が整備されたことにより、着実に小中学校における授業での活用が進んでいる。 ◎ICT 支援員の全校配置により、活用が進むにつれて増加する機器トラブルや、活用場面に応じた機器操作に関する課題に対応できている。 【課題】 ◎国により打ち出された GIGA スクール構想を踏まえ、校内ネットワークや端末整備を計画的に実施していく必要がある。 ◎一人一台端末となることを見据え、教職員の ICT スキルの向上と授業における利活用の推進を図る。

今　後　の　方　向　性
◎新たな情報化社会の到来に適切に対応するため、ICT 機器をコミュニケーションのツールとして適切に活用することにより、情報活用能力の育成を図り、対話的な学びを目指す。 ◎ICT 機器を活用した教育を推進することで、身近な地域の課題から地球規模の環境破壊に至るまで、幅広い視野で課題解決を考える学習を設定するなどの工夫をし、グローバルに活躍できる人材の育成を目指す。

重点目標６　魅力ある・信頼される学校・園をつくる

■施策の基本的方向と取組内容

(18) 学校・園の組織力と教職員の資質向上
　　①　学校・園の組織力の向上
　　②　教師の資質・能力の向上
　　③　教職員の健康管理

(19) 魅力ある学校・園づくり
　　④　特色ある学校・園づくり
　　⑤　情報発信する学校・園づくり
　　⑥　協働・参画による学校・園づくり

(20) 安全・安心なよりよい教育環境の整備
　　⑦　危機管理体制の確立
　　⑧　実践的な防犯・交通安全教育の推進
　　⑨　計画的な教育施設の整備

■主な取組実績

取 組 名	学校・園の組織力と教職員の資質向上
取組内容	○木津川市初任者・新規採用者研修 ・全体研修と年間２回の指導主事による授業参観と個別指導を通して、授業力の向上と服務等も含めた資質能力の向上を図る。 ○木津川市中堅教職員等管外実務研修 ・全国学力調査で実績を上げている福井県の小・中学校に、本市の小・中学校教員各１名を派遣し、１週間程度の実務研修を行い、学力向上に係る学校の取組を学ぶことで派遣教員の資質能力の向上を図り、本市の全体の今後の取組に生かしていく。 ○働き方改革の取組 ・職員の勤怠管理をＩＣカードでシステム化することにより、勤務時間を見える化し、勤務実態の把握や適正な勤務時間の指導を行っている。 ・学校ごとに「ノー残業デー」を設定 ・校務支援システムを活用し、事務の効率化を図っている。 ・取り組みを通して職員の意識改革を図っている。
担 当 課	学校教育課

取 組 名	魅力ある学校・園づくり
取組内容	○特色ある学校づくり ・当該学校、児童、生徒及び地域実態、特性を活かした特色ある教育活動への積極的な取組みを推進する学校の教育活動の一層の充実を図ることを目的として、平成２３年度から各学校からの事業提案型で実施している。 ▶実施状況 指　定　課　題　2校 特色を活かした研究課題　9校 ▶事業費　（千円） 特色のある学校づくり推進事業費　平成30年度 1,000　令和元年度 1,000
担 当 課	学校教育課

取 組 名	安全・安心なよりよい教育環境の整備
取組内容	○施設管理事業 ・木津小学校での校舎窓枠上部のモルタル落下を受け、緊急に同様の条件で施工された小中学校、幼稚園施設の打診調査及び修繕を実施。 ・平成３０年度からＰＦＩ事業により市内小中学校、幼稚園に空調設備を整備した。 ・城山台小学校児童急増対策として校舎増築の設計を業務委託した。 ・他校に先んじて、洋式化率が低い山城中学校のトイレ洋式化改修を実施し、洋式化率を２８．９％から３９．５％とした。 ▶事業費　（千円） 事務局費　平成30年度 ８５２，２０６　令和元年度 ７３，１０７ 小学校費　平成30年度 １７８，８１２　令和元年度 ２２１，５５４ 中学校費　平成30年度 ２７０，７４７　令和元年度 ７０，６８６ ○通学路の定期的な安全点検 ○木津川市通学路安全推進会議 ・地域やＰＴＡから要望される通学路における安全対策要望箇所について、関係機関が一堂に会し要望箇所の合同点検を実施し、対処工事等を行い、通学路の安全性向上に取組む。

担 当 課	学校教育課

取 組 の 成 果 と 課 題

【成果】
◎教職員の出退勤時間を IC カードで管理することで、在校時間が明確になり教職員の勤怠管理がしやすくなった。また、職員の意識改革にもつながり、在校時間が削減された。
◎各校で決めたテーマに沿って、重点的に研究や実践に取り組むことで各校の特色づくりができている。
◎ＰＦＩ事業で空調設備を整備し、教育環境が向上した。
◎市の初任者等研修を通じて、初任者等の授業力の課題と具体的な改善点が明確になり、その後の指導力の向上につながった。また、服務についても具体的に指導ができた。
◎市の管外実務研修を通じて、派遣された教員のリーダーとしてのモチベーションが高まり、その後の学校活性化への積極的な姿勢につながった。また、学力向上に係る新たな視点も明らかになり、市のその後の取組にも生かされた。

【課題】
◎特色ある学校づくり事業として、各校の実態や希望により事業内容を選定しているが、新学習指導要領に対応した独自の取り組みができるよう適切な支援を推進する。

今 後 の 方 向 性

◎教育施設の長寿命化計画に基づき、コストを抑えながら効果的に施設管理していく。
◎本市においては、今後も教職員の初任者が増えることが予想され、初任者研修は今以上に重要になると考える。また、中堅教員の管外実務研修については、概ね先進県での実務研修での成果を得た段階で、市全体の教員の資質能力の向上を目指す取り組みを推進する。

重点目標７　地域の力を活かして子どもをはぐくむ

■施策の基本的方向と取組内容

(21) 社会総がかりによる子育て支援
　　①　地域の教育力を活かした教育環境の整備
　　②　子どもの安心・安全な居場所づくり

(22) 家庭教育の支援
　　③　親の学びの支援と相談・サポート体制の充実
　　④　保護者への経済的支援

(23) 生涯学習環境の充実
　　⑤　生涯にわたる豊かな学びのサポート

(24) 安全対策の充実
　　⑥　安全対策の充実

■主な取組実績

<table>
<tr><td>取 組 名</td><td>社会総がかりによる子育て支援</td></tr>
<tr><td>取組内容</td><td>
○青少年健全育成
・青少年の健全育成活動を促進し、次代を担う社会の形成者として豊かな人間性を育むため、各種関係団体との連携を密にして「木津川市小学生ソフトボール大会」など健全育成事業の実施や、団体活動の支援に努めた。

▶実施状況
<table>
<tr><td></td><td>平成30年度</td><td>令和元年度</td></tr>
<tr><td>青少年育成委員会事業参加者数</td><td>１，５６６人</td><td>１，３０７人</td></tr>
<tr><td>地域子ども会補助金交付件数</td><td>６３件</td><td>６４件</td></tr>
</table>
▶事業費　（千円）
<table>
<tr><td></td><td>平成30年度</td><td>令和元年度</td></tr>
<tr><td>青少年健全育成事業費</td><td>３，３２６</td><td>２，９５４</td></tr>
</table>

○京のまなび教室事業の推進
・小学校区単位で、放課後や土・日曜日における子どもの活動を支援するため、諸活動における安全確保や遊び・学習活動のコーディネートなどを行う。放課後や休日の子どもたちと地域の交流の場となるよう、放課後子ども教室等を実施している。
・木津川市子ども・子育て支援事業計画に基づき、一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室を令和元年度までに５０％整備することを目指し、令和元年度末において、８教室を開設している。
</td></tr>
</table>

▶実施状況（活動回数）

	平成30年度	令和元年度
相楽台小学校	４０回	３５回
高の原小学校	２６回	２６回
棚倉小学校	９回	９回
南加茂台公民館	６２回	７４回
南加茂台小学校	９回	１０回
木津小学校	８回	６回
城山台小学校	４回	８回
上狛小学校	－	４回

▶事業費　（千円）

	平成30年度	令和元年度
京の学び教室推進事業費	２，２４６	２，３７８

○地域で支える学校教育推進事業

・中学校区単位で、学校教育活動に地域の力を活用するため、学校の要望内容と地域の力をコーディネートする。平成２５年度から、市内５中学校区に具体的な学校支援を協議する地域学校協働本部（旧学校支援地域本部）を設置し、地域コーディネーターを中心として、地域のボランティアとともに学校支援を実施している。

▶実施状況　（人）

	平成30年度	令和元年度
地域コーディネーター活動人数	１１	１１

▶事業費　（千円）

	平成30年度	令和元年度
地域で支える学校教育推進事業費	１，９７３	１，４９３

担当課	社会教育課

取組名	家庭教育の支援
取組内容	○幼稚園就園奨励補助金等の交付 ・私立幼稚園に在籍する幼児を養育する保護者の保育料の負担軽減を図る。加えて、多子世帯の保護者負担軽減を目的として、第３子以降就園支援補助事業を実施し、所得制限を撤廃して第３子以降の幼稚園児を対象として、入園料・保育料に対して補助を行う。 ・１０月からの幼児教育無償化制度開始のため９月までの交付となっている。

▶実施状況　（人）

	平成30年度	令和元年度
対　象　人　数	３６４	３６０

▶事業費　（千円）

	平成30年度	令和元年度
幼稚園就園奨励事業費	５０，４９７	２４，６０４

○幼稚園使用料減免措置
・公立幼稚園使用料減免

▶実施状況　（のべ：人、千円）

	平成30年度	令和元年度
対　象　人　数	７０	７４
減　　免　　額	３０１	３１９

＊半期ごとに申請・決定のため延べ人数を記載

○育英資金の交付
・教育のために役立ててほしいと寄せられた寄附金からなる育英資金交付基金を財源として、寄附者の意思を反映させるため、高等学校または高等専門学校等の入学生に対し、修学のための援助を行った。高等学校等在学中で負担が大きいと考えられる１年生のみを対象とし、１人当たり30,000円を交付した。

▶実施状況　（人）

	平成３０年度	令和元年度
育英資金交付人数	８６	７７

▶事業費　（千円）

	平成３０年度	令和元年度
育英資金交付事業費	２，５８０	２，３１０

○通学費補助金の交付
・遠距離通学児童の通学費負担軽減を図るため交付。
対象児童は１７人。

▶実施状況　（人）

	平成３０年度	令和元年度
補助金交付人数	１５	１５

▶事業費　（千円）

	平成３０年度	令和元年度
安全対策事業費	２５８	２５４

担当課	学校教育課、こども宝課

取 組 名	生涯学習環境の充実

取組内容

○社会教育委員会活動

・社会教育委員会、専門部会で社会教育関連事業について調査研究を行い、府・近畿・全国社会教育研究大会等の研修会に参加した。

▶実施状況　(回)

	平成30年度	令和元年度
委員会開催回数	6	5
専門部会開催回数	１２	１０

▶事業費　(千円)

	平成30年度	令和元年度
社会教育委員事業費	３５３	３４７

○高齢者教育

・自ら興味や関心を持って学ぼうとする意欲を高めることによって、高齢者の「自立」と「つながり」を一層深めるため、高齢者のニーズを踏まえた学習課題を設定し、生涯学習の推進を図るため、生きがい大学を実施。
令和元年度は、開講式・近隣市町村巡り・社会見学・閉講式を実施した。
また、高齢者の身体的負担軽減を図るため、事業実施会場の見直しを行い、開講式を加茂文化センター、閉講式をアスピアやましろで開催した。

▶実施状況　(人)

	平成30年度	令和元年度
入学者数	７０２	５７５

▶事業費　(千円)

	平成30年度	令和元年度
高齢者教育事業費	４，５９５	４，３１４

○障害者教育

・視覚障害者及び聴覚障害者の自立や地域住民の社会参加を促進するための学習機会を提供し、地域を基盤とした共生社会の実現を目指すため、関係団体と連携して障害別に２回の社会教育研修会を実施した。

▶実施状況　(人)

	平成30年度	令和元年度
研修会参加者数	４９	４９

▶事業費　(千円)

	平成30年度	令和元年度

障害者教育事業費	１３３	１２３

○少年少女合唱団の育成

・山城少年少女合唱団、加茂少年少女合唱団、木津少年少女合唱団の３団体があり、月２～３回の練習を中心に発表会への参加などの活動を展開した。

・令和元年度は、やましろ未来っ子はくらん会、福祉施設への慰問、少年の主張大会など市主催行事への出演を積極的に行った。

▶事業費　（千円）

	平成30年度	令和元年度
少年少女合唱団育成事業費	２，０２７	１，５４０

○公民館活動

・南加茂台公民館を中心に公民館講座を、東部交流会館を中心に市民講座・生涯学習講座を開催した。

▶実施状況　（講座開設数）

	平成30年度	令和元年度
南加茂台公民館	２９	２４
東部交流会館	２５	２６

▶利用状況　（のべ人数）

	平成30年度	令和元年度
南加茂台公民館	１９，４１３	２２，５６８
庁舎北別館	２０，８２４	１７，６０３
東部交流会館	２３，９２６	２１，２７１
中央交流会館	４５，８８５	４１，６５１
西部交流会館	１７，６２１	１７，５９８
瓶原公民館	７，２５３	２，１２６
山城文化センター	１０５，６６７	６３，３００
加茂文化センター	５１，６５８	４２，５９５
当尾の郷会館	９，４５５	８，９３０

▶事業費　（千円）

	平成30年度	令和元年度
公民館事業費	３，９１１	３，１９７
公民館管理／運営事業費	１０，０１１	１０，１７３
庁舎北別館管理事業費	２，２６３	２，０８９
交流会館運営事業費	３５，１５６	３５，９１４
山城文化センター管理運営事業費	５２，０１２	５２，６１２
加茂文化センター管理運営事業費	３５，２４２	３５，８４０
当尾の郷会館管理事業費	４，４５６	４，５４３

○図書館活動

・資料や情報の提供に重点を置き、図書の貸出を中心に、夏休み工作教室や人形劇等の行事の実施や、小学１年生に「としょかんスタートセット」の配布を行うなど、市民の図書館利用促進

を図った。館内の展示ホール等で、各団体による絵画等の作品や、季節や時の話題をテーマにした資料の展示を実施した。本年度は、図書購入のための寄附があり、調べ学習に必要な事典、人気のあるシリーズ物や小説など、広く資料を充実させることができた。

▶実施状況　（冊）

		平成30年度	令和元年度
中央	年度末蔵書数	１４０，７５４	１４３，０００
	年間貸し出し冊数	３３４，１０８	３０２，８９１
	年間利用者数（人）	８３，０９８	７８，１１１
加茂	年度末蔵書数	７８，２０９	７９，７５８
	年間貸し出し冊数	１７１，４８５	１６０，３８８
	年間利用者数（人）	４４，２２３	４１，８８９
山城	年度末蔵書数	１０３，６８４	１０６，４９８
	年間貸し出し冊数	１３６，７２３	１３５，７６５
	年間利用者数（人）	３４，７８８	３３，８１６

▶事業費　（千円）

		平成30年度	令和元年度
中央	管理事業費	８，３９５	７，７８２
	運営事業費	２７，９００	２８，９１０
加茂	管理事業費	３，２７８	３，０８２
	運営事業費	１５，８５９	１６，００１
山城	管理事業費	４，５８１	３，７９２
	運営事業費	１３，２１４	１４，１９７

○社会教育施設管理事業

・小谷下教育集会所の解体及び跡地整備工事設計業務委託など、老朽化施設の改修や機能充実等に計画的に取り組んだ。

▶事業費　（千円）

	平成30年度	令和元年度
施設管理事業費	８３，９０２	６２，９７８

○生涯スポーツ・健康づくり

・スポーツ推進委員などと連携し、気軽に取り組めるニュースポーツの普及、高齢者などを対象とした健康増進や体力向上のための教室の開催など、生涯スポーツの振興、障害のある方も参加しやすい学習機会の拡充や環境整備に努めている。

○スポーツ推進委員事業
○社会体育振興事業

▶実施状況

	平成30年度	令和元年度
スポーツ推進委員活動回数	５０回	３５回
スポーツ協会及びスポーツ少年団会員数（累計）	２，２４５人	２，２１１人

▶事業費　（千円）

	平成30年度	令和元年度
生涯スポーツ振興事業費	１，３３５	４２０
社会体育振興事業費	９，９３０	１１，２１９

〇オリンピック聖火リレー事業
・東京２０２０オリンピック聖火リレーを木津川市内で実施するため、木津川市スポーツ協会と業務委託契約を結び、準備や啓発を行った。

▶事業費　（千円）

	平成30年度	令和元年度
オリンピック聖火リレー事業費	－	８２９

担当課	社会教育課

取組名	安全対策の充実
取組内容	〇児童生徒の安心と安全を確保するための取組 ・各小学校でインターホン、防犯カメラ、赤外線センサー等による機械警備を実施 ・新入学児童への防犯ブザーの配布、自転車通学をする新入生徒へのヘルメット購入補助 ・交通量の多い区域への学童誘導員の配置 ▶事業費　（千円） 平成30年度：４，５１１　令和元年度：３，４７３ 安全対策事業費
担当課	学校教育課

取　組　の　成　果　と　課　題

【成果】
◎生涯学習推進計画「きずなプラン」に基づき、市内の社会教育施設を拠点とした学習機会の提供により、多くの市民が参加し、生きがいづくりや地域づくりを進めることができた。
◎家庭や地域の教育力を向上させるための事業に取り組み、社会総がかりで子どもを守り、育てる体制づくりを行った。
◎スポーツ推進委員と連携し、気軽に楽しめるニュースポーツの普及を行った。
◎平成３０年度の図書館利用者アンケートや地域要望に基づき、図書館運営の効率化とサービス向上を図るため、10 時開館を９時 30 分に早める検討・検証を重ね、実施に向けて取り組んだ。（令和２年４月実施）
◎社会教育施設をより利用しやすい施設とするための整備として、公共施設等総合管理計画施設類型別個別施設計画に基づき、老朽化している施設の長寿命化を図り、利用しやすい施設整備と良好な施設維持管理を行った。

【課題】
◎参加者の固定化・高齢化が見られるため、新たな参加者を増やすために、事業のあり方や運営方法を検討し、改善を図る必要がある。
◎スポーツ指導者の育成を図るため、指導者研修会等の充実と積極的に参加できる体制づくりが必要である。
◎図書館施設の限られたスペースを有効活用し、より効率良く、豊富で魅力的な蔵書を揃えた書架づくりを行うことが必要である。
◎社会教育施設の多くが老朽化しており、建物・設備の経年劣化が見られる。

今　後　の　方　向　性

◎身近な学びの場となる社会教育施設間の緊密なネットワークをつくり、相互の交流や連携を図り、多様なニーズに応える幅広い学習機会を提供し、誰もが生涯学習、生涯スポーツにとりくみやすい環境づくりを行っていく。
◎地域の図書館として、市民にとって図書館がより身近で役立つ施設となるよう、図書館サービスのあり方の検討を進める。
◎利用者の安全性・利便性に影響あるものを優先的に、施設整備を進める。

重点目標８　地域を学び、郷土を大切にする心をはぐくむ

■施策の基本的方向と取組内容
(25) 自然・歴史についての学習の充実
　① 自然・歴史についての学習の充実
　② 文化・芸術活動の推進
(26) 地域資源の活用
　③ 木津川市ならではのネットワークの構築

■主な取組実績

<table>
<tr><td>取 組 名</td><td>自然・歴史についての学習の充実</td></tr>
<tr><td>取組内容</td><td>
○文化財担当職員による出前授業の実施

▶実施状況

	平成３０年度	令和元年度
実 施 回 数	２６回	２１回
参 加 人 数	１，２８８人	９６３人

○指定等文化財修理等への補助金交付
・文化財の防犯防災事業及び保存修理事業に対して補助金を交付した。

▶実施状況　（補助金件数）

補 助 金 名	補 助 対 象 事 業
国指定文化財の保全修理事業補助金：5件	浄瑠璃寺阿弥陀如来坐像修理（５か年計画の２年目）　ほか
府指定登録文化財等に対する補助金：6件	海住山寺本堂修理　ほか
国指定・府指定登録文化財の維持管理（防災設備保守点検など）：２５件	小林家住宅　ほか
未指定文化財に対する補助金：3件	蟹満寺蔵絹本着色九相図修理　ほか

▶事業費　（千円）

	平成30年度	令和元年度
指定等文化財修理等補助事業費	１０，９６４	１３，０１３

○文化財保護の啓発活動
・市内文化財愛護団体の活動に対する補助金交付
・史跡恭仁宮跡 DVD データ改訂
</td></tr>
</table>

▶事業費　(千円)

	平成30年度	令和元年度
文化財保護啓発事業費	１，１４７	１，７０７

○遺跡・史跡の整備等
・高麗寺跡整備
中心部整備５か年事業の４年目。金堂跡瓦積基壇復元整備と瓦積基壇に使用する平瓦等を２７２枚製作した。

▶事業費　(千円)

	平成30年度	令和元年度
高麗時跡整備事業費	３４，０２３	２４，９４５

○史跡等買上
・史跡指定地の保全を目的とした公有化の推進。
史跡恭仁宮跡（山城国分寺跡）の第１種保存地区内の用地取得と移転補償を実施。

▶事業費　(千円)

	平成30年度	令和元年度
史跡等買上事業費	４１，２１９	２１，４６０

○市内遺跡発掘
・「平成３０年度木津川市文化財年報」「令和元年度木津川市内遺跡発掘調査報告書」を作成。
埋蔵文化財包蔵地での開発に伴う試掘調査を５件実施した。

▶事業費　(千円)

	平成30年度	令和元年度
市内遺跡発掘調査事業費	４，０３９	１，５８３
発掘調査等公共事業費	－	４４

○発掘調査等受託
・平成３０年度実施の吐師遺跡第５次調査について、「吐師遺跡第５次発掘調査報告書」を作成。

▶事業費　(千円)

	平成30年度	令和元年度
発掘調査等受託事業費	－	１６２

担当課	文化財保護課

取組名	地域資源の活用
取組内容	○地域の文化財資料調査活用 ・平成３０年９月３日に平成３０年度国宝重要文化財等保存・活用事業費「現光寺・大智寺史料地域活性化のための特色ある文化財調査・活用事業」に採択された事業。

令和元年度は大智寺・現光寺の調査と史料の燻蒸を実施した。
また史料を保存するために中性紙製の文書箱・薄葉紙を購入した。

▶事業費　（千円）

	平成30年度	令和元年度
地域の文化財資料調査活用事業費	２，０１４	３，０８９

○歴史文化基本構想策定
・構想策定にかかる４年計画の２年目として、文化財悉皆調査等を実施した。

▶事業費　（千円）

	平成30年度	令和元年度
歴史文化基本構想策定事業費	９８１	１，６９３

○木津川市ふれあい文化講座
・年間４回、講師８人を招いて実施。

▶実施状況　（人）

	平成30年度	令和元年度
講座参加者数	４１４	４８４

○くにのみや学習館（木津川市文化財整理保管センター分室）
・史跡恭仁宮跡をはじめ、本市の豊富な歴史・文化遺産の魅力を発信する拠点施設で、恭仁宮の再現 DVD の上映や発掘調査などにより出土した瓦や土器等の展示等を行っているほか、恭仁宮及び市内観光関連パンフレットを配架している。
運営は瓶原まちづくり協議会に委託している。

担当課	文化財保護課

取組の成果と課題

【成果】
◎地域の歴史・文化財についての出前授業を通じて、郷土の歴史と文化財を学ぶことができた。

【課題】
◎郷土愛を育むためには、地域の歴史・文化財を十分に伝え、地域資源を活用する取組の一層の強化が必要。

今後の方向性

◎本市の歴史・文化財についての出前授業を通じて、地域の歴史と貴重な文化財を学ぶ機会の充実を図る。

Ⅳ．資料

教育委員会事務局

（１）所在地　　京都府木津川市木津南垣外110番地9

郵便番号　619-0286

電　　話　（0774）72-0501 ㈹

学校教育課　（0774）75-1230　（直通）

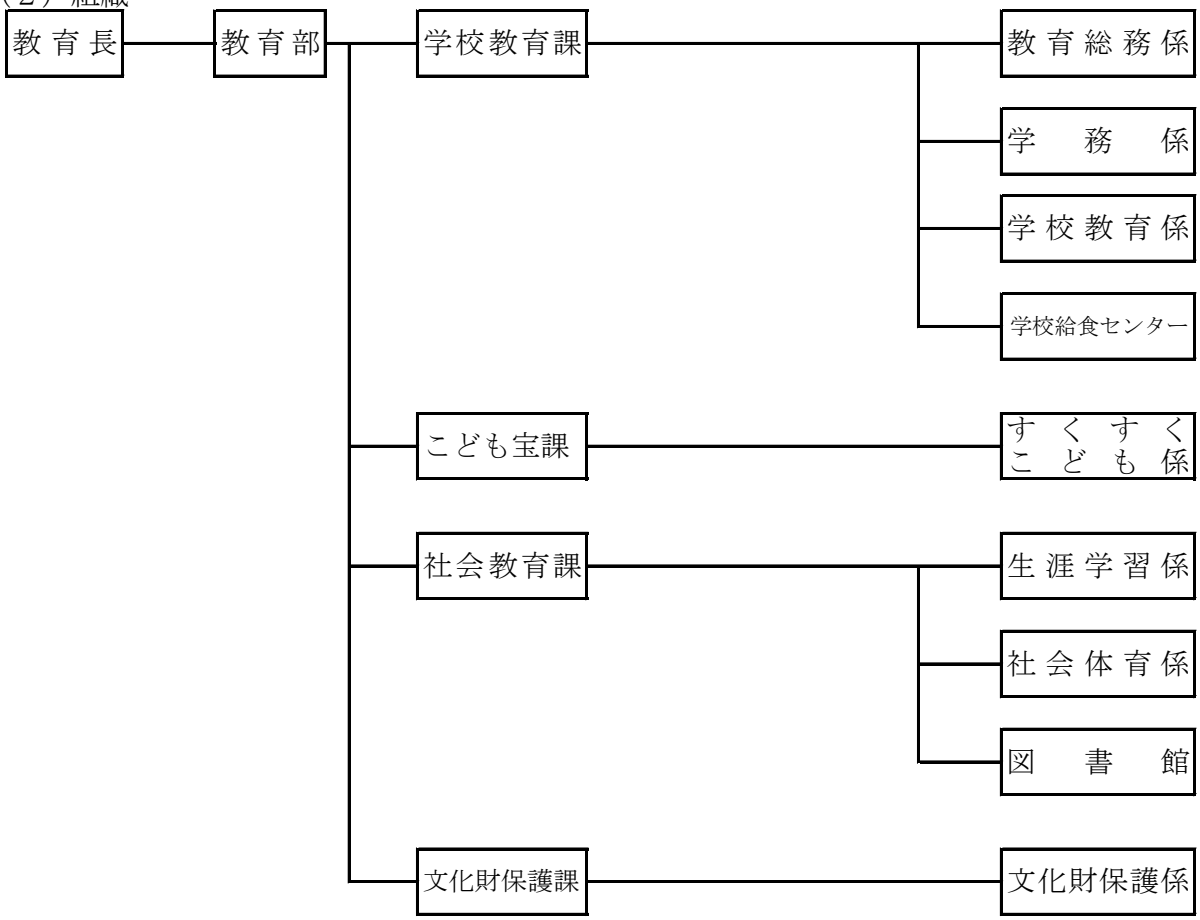
こども宝課　（0774）75-1212　（直通）

社会教育課　（0774）75-1233　（直通）

文化財保護課　（0774）75-1232　（直通）

ＦＡＸ　（0774）73-2566　（0774）75-2083

（２）組織



※令和元年１１月１日現在（組織改正後）

職員配置（令和元年11月１日現在）

教育長　　1名
教育部長　　1名
教育部理事　　2名
教育部次長　　2名

課名等	課長	課長補佐	係名等	係長	係員	
学校教育課	課長(1) 担当課長2 主幹4	2	教育総務係	1	主任	1
					主事	2
					主任専門員	1
			学務係	1	担当係長	1
					主事	3
			学校教育係	1	主事	1
			学校教育指導主事		嘱託	4
			外国語指導助手		嘱託	3
			適応指導教室		嘱託	1
			学校安全対策指導員		嘱託	1
学校給食センター	所長(1)		木津学校給食センター		主任	1
					嘱託	1
	所長(1)		山城学校給食センター		嘱託	4
	所長(1)		加茂学校給食センター		嘱託	1
小学校13校						
中学校5校						
こども宝課	課長(1) 担当課長1 主幹2		すくすくこども係	1	主査	1
					主任	3
					主事	1
					調理師	1
					主任専門員	1
木津幼稚園	園長1	教頭1			教諭	4
					嘱託	2
相楽幼稚園	園長1	教頭1			教諭	4
					嘱託	1
高の原幼稚園	園長1	教頭1			教諭	5
					嘱託	1
保育園7園						
社会教育課	課長1 担当課長1	1	生涯学習係	(1)	主任	2
					主事	2
			社会体育係	1	担当係長	1
					主査	1
			社会教育指導員		嘱託	3
図書館	館長(1)		中央図書館	1	担当係長	1
					主査	9
					専門員	1
					嘱託	4
			加茂図書館		主査	1
					嘱託	1
			山城図書館		担当係長	1
					嘱託	2
加茂文化センター						
山城総合文化センター						
中央交流会館						
西部交流会館						
東部交流会館			社会教育指導員		嘱託	1
南加茂台公民館	館長(1)				嘱託	1
瓶原公民館						
加茂青少年山の家						
加茂青少年センター						
当尾の郷会館						
中央体育館						
市民スポーツセンター						
加茂体育館						
やすらぎタウン山城プール						
文化財保護課	課長1	1	文化財保護係	(1)	主任	2
					主事	1

※(　)内は兼務職員数
※市長部局からの委任事務含む

事務分掌　　※令和元年11月1日現在（組織改正後）

ア　学校教育課

教育総務係
①　教育委員会及び教育部の庶務に関すること。
②　教育委員会の会議に関すること。
③　教育委員に関すること。
④　公印の保管に関すること。
⑤　教育委員会の基本的政策の企画立案及び総合調整に関すること。
⑥　公文書の保管その他文書に関すること。
⑦　表彰、叙勲及び寄付受納に関すること。
⑧　京都府教育委員会その他関係機関との連絡調整に関すること。
⑨　教育委員会の職員（府費負担教職員を除く。）の人事、給与、福利厚生等に関すること。
⑩　教育委員会規則等の公布等に関すること。
⑪　教育委員会所掌に係る歳入歳出予算及び決算に関すること。
⑫　教育費の調査及び統計に関すること。
⑬　後援申請に関すること。
⑭　教育委員会に係る教育行政の相談に関すること。
⑮　市立小学校、中学校等に係る財産の取得管理及び処分並びに財産管理台帳に関すること。
⑯　市立小学校、中学校等の施設台帳に関すること。
⑰　市立小学校、中学校等の施設に係る調査に関すること。
⑱　市立小学校及び中学校の施設整備に関すること。
⑲　市立小学校及び中学校の施設の備品管理に関すること。
⑳　市立小学校及び中学校の使用許可に関すること。
㉑　市立小学校及び中学校の施設の国庫支出金及び府支出金に関すること。
㉒　学校教育課の所管となる施設の企画立案、設計計画等に関すること。
㉓　公用車の管理に関すること。
㉔　教育部における他の課に属さない事項等の処理に関すること。
㉕　課の庶務に関すること。

学務係
①　学校の組織編成に関すること。
②　通学区域に関すること。
③　児童生徒の安全に関すること（通学路を含む。）。
④　学齢簿の編成及び整備に関すること。
⑤　児童生徒の就学並びに入学、転学及び退学に関すること。
⑥　児童生徒の就学猶予又は免除に関すること。
⑦　児童生徒の指定学校の変更及び区域外就学に関すること。
⑧　市立小学校及び中学校に係る予算・決算の執行管理に関すること。
⑨　就学時健康診断に関すること。
⑩　府費負担教職員の人事、給与等に関すること。
⑪　府費負担教職員の研修に関すること。
⑫　市立小学校及び中学校の設置及び廃止に係る事務に関すること。
⑬　所掌に係る調査及び基幹統計に関すること。

⑭ 児童クラブの施設整備及び運営に関すること。
⑮ 児童クラブ使用料の賦課及び調定に関すること。
⑯ 児童クラブ使用料の徴収、滞納対策等に関すること(ただし、収納担当課が取扱うものを除く。)。
⑰ その他学務に関すること。

学校教育係
① 児童生徒の保健及び健康診断に関すること。
② 教育課程及び学習指導に関すること。
③ 人権教育、特別支援教育等に関すること。
④ 人権教育等の教育関係補助金に関すること。
⑤ 教育支援委員会に関すること。
⑥ 教科書採択及び教科書無償給与に関すること。
⑦ 市立小学校及び中学校の教材備品の管理及び取扱いに関すること。
⑧ 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に関すること。
⑨ 外国語指導助手に関すること。
⑩ 学校評議員及びスクールボランティアに関すること。
⑪ 就学奨励費に関すること。
⑫ 就学援助に関すること。
⑬ 育英資金・高等学校奨学金に関すること。
⑭ 教育相談に関すること。
⑮ 児童・生徒の基礎学力向上に関すること。
⑯ その他学校教育に関すること。

学校給食センター
① 学校給食センターの施設整備及び運営に関すること。
② 学校給食に関すること。

イ こども宝課

すくすくこども係
① 子どものための教育・保育給付に関すること。
② 子育てのための施設等利用給付に関すること。
③ こども政策に関すること。
④ 子ども・子育て会議に関すること。
⑤ 特定教育・保育施設、特定地域型保育事業者、特定子ども・子育て支援施設等の確認に関すること。
⑥ 教育・保育認定に関すること。
⑦ 保育施設及び保育事業の利用調整に関すること。
⑧ 市立幼稚園児の入退園に関すること。
⑨ 特定教育・保育施設の利用者負担額の決定等に関すること。
⑩ 保育所及び市立幼稚園の利用者負担額の徴収及び収納に関すること(ただし、収納担当課が取扱うものを除く。)。
⑪ 保育所、認定こども園、家庭的保育事業等への指導監査に関すること。
⑫ 保育所、認定こども園及び家庭的保育事業等事業者への助成に関すること。

⑬ 保育所、認定こども園、家庭的保育事業所及び小規模保育事業所の整備に関すること。
⑭ 家庭的保育事業、小規模保育事業、居宅訪問型保育事業及び事業所内保育事業の認可に関すること。
⑮ 市立幼稚園の設置及び廃止に係る事務に関すること。
⑯ 市立幼稚園の通園バスに関すること。
⑰ 私立幼稚園の補助に関すること。
⑱ 市立保育所及び市立幼稚園の施設整備及び運営管理に関すること。
⑲ その他幼児教育・保育に関すること。

ウ 社会教育課

生涯学習係
① 社会教育の総合企画及び調整に関すること。
② 社会教育施設に係る財産の取得管理及び処分並びに財産管理台帳に関すること。
③ 公民館、交流会館及びその他社会教育施設の施設整備及び運営に関すること。
④ 社会教育施設の企画立案及び設計計画等に関すること。
⑤ 社会教育委員及び公民館運営審議会に関すること。
⑥ 社会教育活動の奨励に関すること。
⑦ 青少年教育、成人教育、女性教育、高齢者教育、人権教育、障害者教育及び家庭教育に関すること。
⑧ 社会教育関係団体の指導育成及び援助に関すること。
⑨ 文化・芸術の振興に関すること。
⑩ 成人式に関すること。
⑪ 学校と社会教育との連携に関すること。
⑫ 社会教育に係る資料の収集・提供及び広報活動に関すること。
⑬ 生涯学習の総合企画及び調整に関すること。
⑭ 生涯学習関係団体との連絡調整に関すること。
⑮ 教育ボランティア及び指導者の育成に関すること。
⑯ 生涯学習に係る資料の収集・提供及び広報活動に関すること。
⑰ 生涯学習相談に関すること。
⑱ 国際交流に関すること。
⑲ その他生涯学習推進に関すること。
⑳ 課の庶務に関すること。

社会体育係
① 体育・スポーツの総合企画及び調整に関すること。
② 社会体育施設に係る財産の取得管理及び処分並びに財産管理台帳に関すること。
③ 社会体育施設の施設整備及び運営に関すること。
④ 社会体育施設の企画立案及び設計計画等に関すること。
⑤ スポーツ推進委員に関すること。
⑥ 体育・スポーツ及びレクリエーションの奨励に関すること。
⑦ 社会体育事業の企画立案及び運営に関すること。
⑧ スポーツ指導者の育成に関すること。
⑨ 社会体育関係団体の指導者育成及び援助に関すること。

⑩　体育・スポーツ及びレクリエーションに係る資料の収集・提供及び広報活動に関すること。
⑪　スポーツ相談に関すること。
⑫　学校体育施設の開放事業に関すること。
⑬　その他社会体育に関すること。

図書館
①　図書館の総合計画及び調整に関すること。
②　図書館協議会に関すること。
③　図書館に係る財産の取得管理及び処分並びに財産管理台帳に関すること。
④　図書館施設の施設整備及び運営に関すること。
⑤　図書館施設の企画立案及び設計計画等に関すること。
⑥　図書館事業の企画立案及び運営に関すること。
⑦　図書館資料の収集、整理及び保存に関すること。
⑧　図書館資料の貸出し及び返却に関すること。
⑨　図書館資料の利用相談に関すること。

エ　文化財保護課

文化財保護係
①　文化財関係総括に関すること。
②　文化財関係計画の立案に関すること。
③　文化財に係る財産の取得管理及び処分並びに財産管理台帳に関すること。
④　文化財保護課の所管となる施設の企画立案及び設計計画等に関すること。
⑤　文化財関係施設の整備運営に関すること。
⑥　文化財保護審議会等に関すること。
⑦　文化財所有者及び保護団体に関すること。
⑧　文化財保護関係機関との連絡調整に関すること。
⑨　文化財の収集、調査及び研究に関すること。
⑩　文化財の保存及び活用に関すること。
⑪　講演会、研究会及び展示会等の開催に関すること。
⑫　文化財資料の利用者に対する情報提供等に関すること。
⑬　文化財補助金に関すること。
⑭　市史編さんに関すること。
⑮　その他文化財の管理調査に関すること。
⑯　課の庶務に関すること。

Ｖ．有識者総評

○全体
・昨年度までは、事業のコストに対する効果、評価がメインとなっており、取組内容の成果と課題、今後の方向性が具体的かつ明確でなかった点が改善されており、評価できる。

○重点目標１
・家庭学習の習慣化への取組は、生活習慣の確立を図る中で進めていくことが重要と考える。
・思考力・判断力・表現力等の育成に加え、今後進んでいく高度情報化社会において、情報を処理する能力の育成、正しく取捨選択できる能力の育成に向けての取組が必要と考える。

○重点目標２
・学校の授業以外で読書をする割合が全国平均を下回っていることから、学校以外での読書習慣を身に付けるために、市立図書館と学校司書とが連携するなど具体的な取り組みを進めることが必要と考える。

○重点目標３
・子どもたちを取り巻く環境の変化により、視力や体力の低下が問題視されている。また、「知・徳・体」のバランスのとれた力を育むことが重要であることから、年度ごとに作成される「学校教育の重点　重点取組事項」においても、体力向上に向けての取組を盛り込む必要があると考える。
・地元産食材を学校給食に数多く取り入れるとともに、食文化の継承と地産地消を推進するため地域の団体などを取り込んだ幅広い取り組みが重要であると考える。

○重点目標４
・幼児期の教育がスムーズに小学校教育につながるよう、学校と園とが協議・連携する機会の拡充を図ることが必要と考える。

○重点目標５
・木津川市情報教育研究会の研究・指導体制の充実を図る。また市独自の取組や研修体制を強化するとともに、ＩＣＴ支援員の配置を拡充することが必要である。

○重点目標６、７
・各学校のホームページでの発信力に差があると見受けられるので、内容や更新頻度の底上げや市の広報紙の活用も含めて、各校の取組や特色を積極的に紹介することで、地域の学校に対する理解や協力体制を一層強化できると考える。
・地域の特性や近年の異常気象を踏まえ、浸水害などの災害に備えた様々な対策をしっかり考えておく必要があり、平時において実効性のある計画を整備しておく必要がある。合わせて、施設の状況や点検の内容についても確認し、危機管理体制の構築が必要である。

○重点目標８
・文化財保護課の職員による出前授業は好評であり、学校への出前授業については、教科指導の内容とリンクさせるなど、学校と十分連携した取組が必要である。